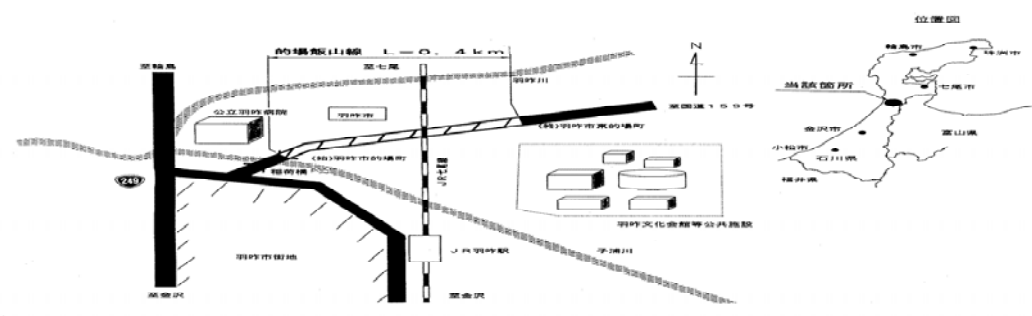


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：北陸地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：渡辺 春彦

事業名	まとはいのやませんの場飯山線	事業区分	街 路	事業主体	石 川 県	
起終点	自：石川県 羽咋市 的場町 至：石川県 羽咋市 東的場町	延長	0.4 km			
事業概要	都市計画道路の的場飯山線は、羽咋市街地と羽咋市東部地域及び国道159号を結ぶ重要な路線である。本事業は次場踏切を廃止し、跨線橋を設置することで交通渋滞を解消するとともに歩車分離によって交通安全を確保し、羽咋市東部地域から中心部にアクセスする幹線道路としての機能向上を図る。					
H9年度事業化	S51年度都市計画決定 (H13年度変更)	H10年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	約 39億円	事業進捗率	58.2%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	12,500台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.7 (残事業) 6.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 17/39億円 事業費：17/39億円 維持管理費：0.00/0.00億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 104/104億円 走行時間短縮便益：93/93億円 走行費用減少便益：6.6/6.6億円 交通事故減少便益：3.9/3.9億円	基準年	平成18年	
感度分析の結果	未実施					
事業の効果等	交通渋滞を解消するとともに歩車分離による歩行者の交通安全を確保する。					
関係する地方公共団体等の意見	的場飯山線は、歩道が未整備で道路幅員が狭いうえに、JR七尾線の横断には狭小な「次場踏切」を利用せざるを得ず、交通渋滞が発生している。また、周辺は住宅地で、付近にJR羽咋駅や公立羽咋病院、等が立地しているため、交通量も多く、危険な状況である。羽咋市からは、早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	国道415号沿線では近年、商業施設の立地が進んでいる。そのため、国道415号で交通渋滞が発生している。よって、羽咋市東部地域から市中心部へのアクセス強化を図る的場飯山線の必要性が高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度末までに、用地補償は全て完了し、道路築造と跨線橋下部工3基の工事を行った。平成18年度は、跨線橋下部工2基の施工と、平成19年度以降に行う跨線橋上下部工工事に伴い通行止めとなる現道の迂回路の築造工事を順次進める。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成9年度より鋭意整備を進めているが、用地補償の難航及び関係機関との調整に時間を要したことにより進捗に遅れを生じた。なお、用地補償については平成17年度に完了しており、事業期間は延伸しているものの事業の執行は順調である。					
施設の構造や工法の変更等	路床改良のセメント安定処理工の採用、補強土壁盛土材料の流用度の活用によりコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性に関する視点および進捗見込みの視点で再評価し事業継続が必要である。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。